

## シンポジウム実績資料

### 第24回加齢美 Symposium «艶やかな髪、私が主役»

会場は前回（2023年）に引き続き東京・渋谷のさくらホール（渋谷区文化総合センター大和田）にて行われました。前回コロナ明けの時期であったことから1日だけの開催でしたが、今回は2018年以来7年ぶりに2日間の開催となりました。またオンライン開催も同時に行いました。



#### ◇基調講演 山崎伊久江理事長

2025年9月、2年ぶりに開催されたシンポジウム

には、約400名の参加者が集まりました。

理事長による基調講演では、コロナ禍を経て再び



顔を合わせる喜びが語られ、会員の絆の重要性が強調されました。シンポジウムを通じて、参加者同士のつながりを深め、さらなる発展を目指す決意が示されました。

◇講演1 三島 雅辰 先生



(再生医療・予防医療医療法人社団 裕恒会 Gクリニック 院長)

「すごい幹細胞～細胞レベルでいつまでも若々しく～」

講演では、私たちの体の修復・再生を担う「幹細胞」が、年齢と共に減少することが老化の大きな原因であると解説。

しかし、日々の生活習慣によって幹細胞を元気に保つことが可能である事も解説されました。

特に重要なのが「食事」です。細胞の材料となるタンパク質を中心に、数日かけて多様な品目を摂るバランスの良い食事が鍵となります。一方で、角砂糖 16 個分にも相当する糖分を含む清涼飲料水や、トランス脂肪酸（マーガリン等）は細胞の老化を招くため注意が必要です。

また、食事だけでなく、適度な運動、質の良い睡眠、そして趣味や「押し活」などワクワクする気持ちを持つことも、細胞を活性化させる上で非常に重要です。

最後に、参加者の皆様をご自身の体を細胞レベルで見つめ直し、健やかで若々しい毎日を送る一助となれば幸いと締めくくられました。

◇講演2 デヴィ・スカルノ 先生 （国際社交家・慈善家インドネシア元大統領夫人 ）

テーマ：人生のモチベーション

1日目の最後の講演には、「デヴィ夫人」の愛称で

親しまれるデヴィ・スカルノ先生が登場しました。

今回の講演では、デヴィ夫人が自身の生い立ちから

現在に至るまでの経験を語り、人生における努力と



前向きな姿勢の大切さを伝えました。華やかな生活を送るイメージとは裏腹に、幼少期の貧困や戦争を経験したことが、強い精神力をもたらしたというエピソードが紹介されました。

講演の中で特に印象的だったのは、「不幸だと感じたときこそ、さらに不幸な人のことを考える」

という考え方です。デヴィ夫人は、ウクライナやガザでの戦争の犠牲者を例に挙げ、自分より困難な状況にある人々のことを思うことで、自らを奮い立たせることができると語りました。また、人生の中で目標や使命感を持つことが、成功へとつながると強調されました。

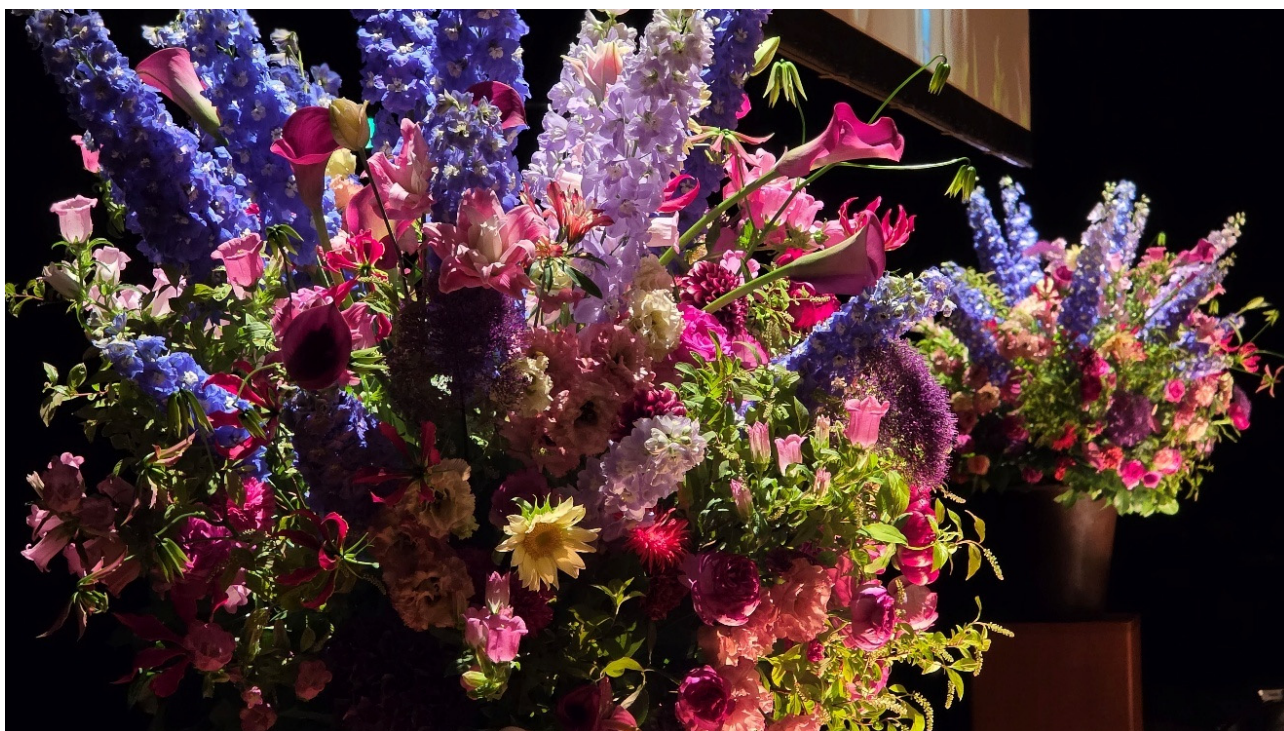
さらに、「若さと美しさを保つ秘訣」として、1日に10回以上感動することを挙げました。美しいものを見たり、感動する経験を重ねることで、心と体の活力を維持できると述べ、日々をワクワクしながら過ごすことの重要性を伝えました。また、夢や目標を持つことでチャンスを逃さず、人生を豊かにできるというメッセージが印象的でした。

講演を通じて、デヴィ夫人は「努力次第で人生は変えられる」という信念を貫いていることが伝わ





り、参加者にとって大いに刺激となる時間となりました。聴衆からは「前向きな気持ちになれた」「人生の目標を再確認できた」といった声が聞かれ、多くの人々が勇気を得た講演となりました。「人の3倍勉強して、人の3倍働いて、人の3倍努力して、人の3分の1の睡眠でやってきました。“夢は見るものではなく掴むもの”という言葉が体現する姿に、刺激を受けた来場者・視聴者も多かったことでしょう。



2日目

◇講演3 鎌田 弥生 先生

( 順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所・順天堂かゆみ研究センター 准教授 )

テーマ：かゆみの基礎知識とその対処法



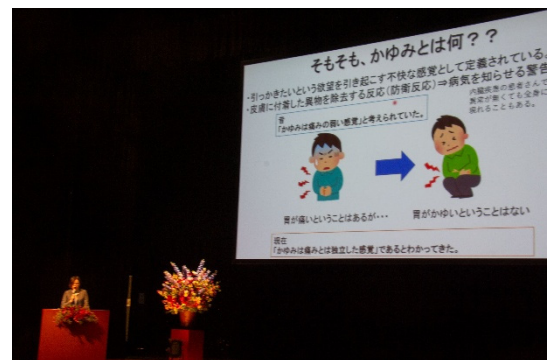
かゆみの基本的な理解とそのメカニズムについて詳しく説明されました。かゆみは「ひっかきたいという欲望を引き起こす不快な感覚」と定義され、痛みとは異なる神経回路で感じられることが明らかになっています。また、か

ゆみは皮膚の異物を取り除く反応や内臓疾患の警告信号としての役割も持っています。

ヒスタミンはかゆみの主要な物質であり、抗ヒスタミン薬が一般的な治療法として用いられていますが、これが効かない難治性かゆみも存在します。

また、皮膚バリア機能が低下すると、外部刺激に対して

過敏になり、かゆみが増加することが示されています。



講演では、かゆみの治療法として、保湿や適切なスキンケアが重要であることが強調され、皮膚バリアを維持し、かゆみを予防するための具体的な方法も紹介されました。最後に、かゆみのメカニズムに関する理解を深めるためのリソースとして、関連書籍の紹介がありました。

◇講演4 櫻井 よしこ 先生 (ジャーナリスト・公益財団法人国家基本問題研究所 理事長)

テーマ：激動の世界情勢と日本の進むべき道

講演では、日本の農業政策とお米の生産についての問題が

取り上げられました。特に、減反政策を見直し、大規模農家に

土地を集約することで生産量を増やすべきだと強調されました。

大規模農家はコストを抑えつつ利益を上げやすく、小規模農家

は土地を貸すことで収入を得られると提案されました。また、関税を撤廃し、輸入米を増やすこと

で価格を安定させる必要性も指摘されました。全体として、農業の効率化と国の食料安全保障の強

化が重要であると結論づけられました。



◇テクニカルステージ 山崎伊久江美容研究会講師陣

テーマ：流面～FLOW～

ステージ前半では山崎伊久江美容研究会講師陣によるジェルブラの特徴について、かかり具合など

ビフォアとアフターを交えて説明が行われました。また、新しいウェーブの参加について、ネック

シャッターについて、スパークレンズについても解説が行われました。後半はヘアショーです。今

回は FLOW（流面）をテーマにシンポジウムの最後を飾るステージとなりました。





ヘアショーの特別映像を動画で公開しております。

是非ご覧下さい。

<https://vimeo.com/1112184840?share=copy>

